

「教員応募履歴書」記入要領（【記入例】参照）

早稲田大学日本語教育研究センター

「教員応募履歴書」はそのまま印刷して会議の資料として使用しますので、丁寧に扱うとともに、PC等で入力してください。履歴は学歴、職歴の開始と終了を漏れなく記載してください。

「教員応募履歴書」は、以下の要領にてご記入ください。

（１）年号の表記

年号はすべて西暦で表示願います。

（２）「氏名」欄

外国人の方の場合の表記方法

1) 「氏名」欄は、母国語または英語で姓名を記入し、「フリガナ」欄はカタカナでご記入ください。

2) 氏名は姓名の順に、次のように表記してください。

『ファミリーネーム [,] ファーストネーム ミドルネーム [.] 』

省略は、ピリオド [.] を使用します。

（例）『ジョン F. ケネディ』は『ケネディ, ジョン F. 』

3) 印鑑をお持ちでない場合は、必ず自筆サインをしてください。

通称名を使用する場合は、『通称名（本名）』で表記してください。

（３）国籍欄

国籍(国名)をご記入ください。

（４）「学歴」欄

高等学校の学歴は、最終学歴が大学卒業以上の場合は省略いただいて結構です。

入学、卒業・修了等の年月日を正確にご記入ください。

早稲田大学の場合、入学は4月1日付で、卒業・修了は、両高等学院が3月31日付、学部は1953年より3月15日付（1969年は、一・二文、教育、理工、社会学は25日付）、大学院修士課程は1960年より3月15日付となっています。

また、学部においては9月15日付の9月卒業、大学院修士課程においては9月15日付の9月修了（1984年以前は10月修了）があります。

学科、専攻、専修名は、正確にご記入ください。

大学院の修士課程・前期課程および博士課程・後期課程の記入欄は、学部までとは別に所定の欄を設けてありますので、ご注意ください。

なお、早稲田大学大学院では、次のように課程の名称が変遷していますので、下記により該当の課程の名称を で囲んでください。在学中に名称が変わった場合には、修了・退学の時点の名称になります。

早稲田大学大学院課程名称の変遷

戦後の新制度 ~ 1976年3月	修士課程と博士課程
1976年4月 ~ 1985年3月	博士前期課程と博士後期課程
1985年4月 ~ 現在	修士課程と博士後期課程

また、博士課程・博士後期課程で、年度途中で退学届を提出した場合を除き、学位を取得せずに大学を退学した場合は、一般的には3月31日付退学となります。

博士学位名は、受領が1991年6月までが『博士』、それ以降は『博士()』となります。

(5) 「職歴」欄

他の大学や学校で講師をされている場合は、専任・非常勤の区別を明確にご記入ください。企業・研究所等に勤務されている場合は、その役職名・肩書等を明記願います。

他の大学・学校・企業等をすでに退職されている場合は、その退職年月日を明記願います。

現職の欄には、複数の大学や学校、研究所等に勤務されている場合は、代表的な現職をご記入ください。

(6) 「専攻分野」欄

自己の研究分野をご記入ください。例、日本語教育、日本語学、言語学、文化人類学、日本史

(7) 「研究分野」欄

詳細にご記入ください。

(8) 「研究業績」欄

原則として、研究業績用紙2枚程度に収まる範囲内で、主要な著書・論文等をご記入ください。研究業績は、修士論文・博士論文・著書・論文・翻訳・学会発表・文部科学省科学研究費補助金採択課題・公的資金による研究課題等に分類したうえ、この順にそれぞれをまとめ、発行・発表年月の古い順にご記入ください。

各々の業績の書き方でご留意いただきたい点は、次のとおりです。

著書：共著の場合は（共著）と明記していただき、題名のほかに執筆担当部分のタイトル名と担当頁を何頁～何頁までとご記入ください。

論文：共著の場合は（共著）と明記していただき、執筆担当部分がある場合には何頁～何頁までとご記入ください。また、嘱任予定箇所から依頼があった場合には、第一著者名をご記入ください。

学会発表：「発行又は発表箇所」欄には、発表された学会名等をご記入ください。

文部科学省科学研究費補助金採択課題：研究代表者として採択されたことがあれば、その種類、題目、金額等をご記入ください。

公的資金による研究課題：科研費以外の経済通産省、日本学術振興会などの公的資金による研究を代表者として実施したことがあれば、その種類、題目、金額等をご記入ください。
詳しくは、「教員任用履歴書」記入例をご参照ください。

(9) 日本語教育 教育業績一覧

主な実績について、期間、教育機関名、担当科目名、使用教科書・教材等を記載してください。

以 上

早稲田大学教員応募履歴書

No.1

年号はすべて西暦でご記入ください

(年 月 日現在)

フリガナ	ワセダ	タロウ	性別	外国人教員の 翻訳者署名
英字氏名	WASEDA	Tarou	男	
氏名	姓 早稲田	名 太郎	・ 女	
生年月日	1963年9月21日42歳		国籍	日本
現住所	フリガナ シヅユクニシタ 〒169-0051 新宿区西早稲田1-1-1		03(3203)4141 携帯 090(0123)4567	
e-mail	taro@waseda.jp			

学 歴 [高等学校入学以降を記入し(入学・編入学)(卒業・修了・退学)等を区分してください]			
1995年 4月 1日			入学
1998年 3月 31日	高等学校		卒業・修了・退学
1998年 4月 1日		学科	入学・編入学
2002年 3月 15日	早稲田大学	学部	卒業・修了・退学
年 月 日			入学・編入学
年 月 日			卒業・修了・退学
年 月 日			入学・編入学
年 月 日			卒業・修了・退学
2002年 4月 1日	修士課程に該当する学歴(新制大学院修士課程・前期課程)		入学・編入学
2004年 3月 15日	早稲田大学大学院日本語教育研究科 日本語教育専攻		修了・退学
2004年 4月 1日	博士後期課程に該当する学歴(博士課程・後期課程)		入学・編入学
2007年 3月 15日	早稲田大学大学院日本語教育研究科 日本語教育専攻		修了・退学(満期・中途)・在学中
博 士 学 位	取得学位名(課程・論文) 博 士 (日本語教育)	受領大学 早 稲 田 大 学	受領年月日 2007年3月15日

職 歴 [職歴異動の場合は入社・退社、および身分・資格等を記入してください]		
開始(就職)年月日	日本語学校 非常勤講師	終了(退職)年月日
2004年 4月 1日~		~ 2005年 3月 31日
2005年 4月 1日~	大学 学部 非常勤講師	~ 2006年 3月 31日
2007年 4月 1日~	大学 学部 非常勤講師(現在に至る)	~ 年 月 日
2007年 9月 1日~	国際交流基金 研究員	~ 2008年 3月 31日
2007年 4月 1日~	大学文学部 非常勤講師	~ 2008年 3月 31日
2008年 4月 日~	早稲田総研インターナショナル 契約講師	~ 2008年 3月 31日
年 月 日~		~ 年 月 日
年 月 日~		~ 年 月 日
現 職	早稲田総研インターナショナル 契約講師、 学部 非常勤講師	大学 現在に至る
2008年 4月 1日~		

専攻分野(別紙より選択)	日本語教育
--------------	-------

氏名 _____

No. _____

教 育 研 究 業 績

[教育活動(1.教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)2.作成した教科書、教材、参考書 3.教育方法・教育実践に関する発表、講演等
4.その他教育活動上特記すべき事項)、 研究活動(1.著書 2.修士論文・博士論文・論文 3.学会発表 4.文部科学省科研費/公的資金による
研究課題(研究代表者)5.その他研究活動上特記すべき事項)、 学会等および社会における主な活動、の順に記入してください]

修士論文・博士論文・ 著書・論文・学会発表・ 科研費採択課題等の別	題 名	発行又は 発表年月	発行又は 発表箇所	掲載誌名等
修士論文		2004年3月	早稲田大学	
博士論文		2007年3月	早稲田大学	
著書		2006年5月	×出版	
		2007年12月	社	
(共著)		2008年1月	書店	
	執筆担当部分のタイトル名 P100～P200 担当			
論文(共著)		2006年6月	学会	誌
(共著)	P25～P30 担当	2006年12月	社	
(共著)		2007年4月		
		2007年7月		
(共著)		2007年10月		
(共著)		2007年11月		
		2008年10月		
学会発表		2004年10月	第9回 学会	学会 報告 No.9
		2005年10月	第12回 学会	学会論文 誌 No.12
		2006年10月	第14回 学会	学会論文 誌 No.14
科研費採択課題	基盤研究B:	2007年度	大学	500万円
省 研究		2008年度	大学	2,000万円

